

(様式2(1))

事業所名 グループホーム ころ

作成日: 平成 22 年 6 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・人権擁護 虐待・拘束・プライバシー保護について、全職員が周知し実践していく為に、継続的に研修を行い取り組む	全職員が人権擁護の周知が出来ており、配慮された声掛けが出来る。	身体拘束を行う場合の、期間・状況等の記録書式の作成と記録の徹底 人権擁護に関する研修を実施し、ご入居者個々に合わせた人格の尊重への取り組みを行う	12ヶ月
2		・チームで作る介護サービス計画書 ご本人やご家族の意見や要望を密に取り入れられるよう、ケース検討会議の位置や方法を検討し、よりよいケアに向けての取り組み	チームで作成された介護サービス計画書にそって、チームで実践し評価する。	ご入居者・ご家族が何気なく言われた言葉から意見や不満・要望を職員が取り上げ、意見として話し合った結果を介護サービス計画書に反映させ、チームで実践していく。ケアプランにそった実践は記録として、対応・結果を残す。	12ヶ月
3		・事故防災対策 地域と共に取り組む防災対策と地域貢献の出来るマニュアル作成	地域を交えた定期的な避難誘導訓練により、的確な避難誘導が出来る。	火災だけでなく地震・風水害・大雪など地域に応じた対応マニュアルを作成する。 マニュアルの中に可能な地域貢献項目を入れる。 避難誘導訓練には、引き続き地域住民の参加協力も依頼する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。